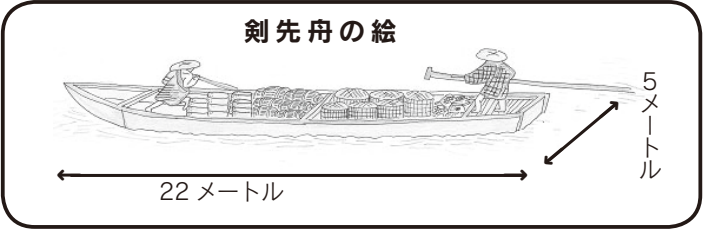


剣先舟でどんぶらこ～石川の流れに思いを馳せて～ 古市地区

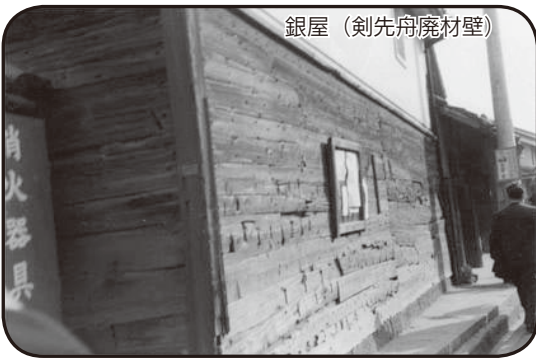
昔々、石川に船の港があったのはご存知ですか？古い絵図によると、現在の石川第一グラウンド付近に船着場が描かれています。350年程前、石川は今よりも水量が多く、川幅が約218メートルあり、交通手段として野通し船（渡し船）が設けられていました。当時は馬や牛に荷車を曳かせて荷物を運ぶのが主流でしたが、大量に運ぶときには船が使われており、石川には剣先舟と言われる1.8トン積の平底舟が往来していました。石川周辺では綿花の栽培が盛んに行なわれていたことから、石川右岸の川向には河内木綿を扱う問屋町が形成され、剣先舟で河内木綿や年貢米、麦、菜種油などを大坂へ運び、その帰りには木綿などの肥料となる金肥（油粕や干鰯）、塩、醤油などを積んで上ってきていました。



また、古市周辺は、難波津から飛鳥の都に至る日本最古の官道（古

代の国道第1号線とされる）「竹内街道」と京都から高野山に詣でる「東高野街道」が交差する交通の要地であったことから、宿場町としても発展しました。

このように、水陸交通の要衝となった古市は、金・銀・銅の貨幣をはじめ、大和・紀州・河内・和泉の各藩が発行した藩札の交換業務に携わる両替商「銀屋」が設けられるなど南河内地域第一の町として繁栄しました。この「銀屋」の竹内街道に面した南側の壁には剣先舟の廃材が利用され、雨風にさらされた古い舟板塀は非常に味のあるものでした。

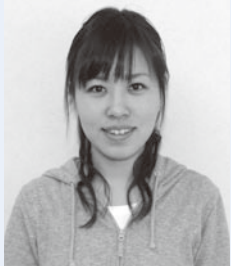


今では、剣先舟や船着場、銀屋の面影を見ることはできませんが、古市周辺は他にも多くの歴史遺産が残っています。春の風が吹き始め暖かくなってきた頃、ぜひ一度この地に足を運んでいただき、交差する街道や石川の流れに思いを馳せながら歴史の香りを感じてみてはいかがでしょうか。

最後にフィールドミュージアムトーク史遊会の橋本幸和様をはじめご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。



平成20年度 新規採用職員紹介



かわいい子どもたちと共に日々成長できるよう頑張ります！
向野保育園 杉田 雅美



常に笑顔で明るく、心の温かい保育士を目指して頑張ります。
向野保育園 松本 裕子



子どもたちのパワーに負けないう頑張ります！
向野保育園 巽 佳子



初心を忘れずにいつも笑顔で子どもたちと接していきたいです。
向野保育園 森本 美有希



子どもたちに毎日笑顔で登園してもらえよう頑張ります。
島泉保育園 藤原 麻由子



かわいい子どもたちと楽しく過ごしています。
はびきの保育園 明神 洋子



子どもの気持ちに寄り添える保育士であるよう、頑張ります！
はびきの保育園 太村 美恵子



子どもたちの笑顔を励みに、これからも頑張ります。
下開保育園 松本 幸子



笑顔を忘れることなく頑張ります。
軽里保育園 田中 涼子



大自然に囲まれて子どもたちと楽しく過ごしています。
駒ヶ合保育園 森 文絵